

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 **新**サステイナブル・ツーリズム教育旅行促進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 観光企画課 国内誘客係 電話番号：058-272-1111 (内 3076)

E-mail：c11334@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 10,000 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	10,000	0	0	0	0	0	0	0	10,000
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

近年、持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に向けた取組みが世界各地で行われ、観光分野においても、多くの国が持続可能性を観光政策の目標として掲げている。

折しも現在、新型コロナウイルス感染症により全国的に観光産業が大きな打撃を受ける中、その回復においても持続可能性が重視されており、地域の自然や文化的資源を保護しつつ、観光活用していく「サステイナブル・ツーリズム」の確立が急速に求められつつある。

こうした中、本県が世界に誇る観光資源は、地域が長く育んできた自然や歴史、伝統文化など、サステイナブル・ツーリズムに資するものであり、児童・生徒が日本の魅力を学ぶ場としても最適であることから、この機会に教育旅行を本格的に誘致し、県内観光産業回復の一助とする。

(2) 事業内容

県内外の学校が実施する県内を訪れる教育旅行に対し、県観光連盟を通じて支援を実施

- 対 象：旅行事業者

● 概 要

- ① 県内宿泊施設に宿泊し、かつ、サステイナブル・ツーリズムに資する県内の観光・体験施設等（別途指定）を訪問する旅行
1校あたり最大15万円
- ② サステイナブル・ツーリズムに資する県内の観光・体験施設等（別途指定）を訪問する日帰り旅行
1校あたり最大10万円

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県全域をまたがる国内誘客の推進は県の事業であり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	10,000	宿泊旅行 15万円×40校分 日帰り旅行 10万円×40校分
合計	10,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想

- II ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくり
- 3 地域の魅力を高め、観光交流を拡大し、消費を増やす
(人を呼び込み、地域の消費を拡大するために)

(2) 国・他県の状況

国 : 本年6月、観光庁及びUNWTO(世界観光機関)駐日事務所により、「日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)」が示されるなど、サステイナブル・ツーリズムの普及促進に取り組まれている。

他県 : 全国各地で教育旅行に関する助成制度あり

例) バス1台あたり5万円 / 生徒一人あたり3千円 など

(3) 後年度の財政負担

なし

県単独補助金事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	サステイナブル・ツーリズム教育旅行促進事業費補助金
補助事業者（団体）	（一社）岐阜県観光連盟
補助事業の概要	<p>（目的）</p> <p>新たな旅の視点として、昨今注目が高まっている「サステイナブル・ツーリズム」を県内で促進するべく、サステイナブル・ツーリズムの教育旅行の県内誘致に取り組む（一社）岐阜県観光連盟を支援する。</p> <p>（内容）</p> <p>県内外の学校が実施する県内を訪れる教育旅行に対し、県観光連盟を通じて支援</p>
補助率・補助単価等	<u>定額</u> ・定率・その他
補助効果	岐阜県の観光消費額のさらなる増大
終期の設定	終期 令和3年度

（事業目標）

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>本助成制度とあわせ、サステイナブル・ツーリズムに資する観光資源をPRすることにより、県内でのサステイナブル・ツーリズム教育旅行の定番化を目指す。</p>
--

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業 開始前	指標の推移		現在値	目 標	達成率
				(前々年度末時点)		
観光消費の経済波及効果	億円 (H -)	4,601億円 (H28)	4,175億円 (H29)	4,172億円 (H30)	5,000億円 (R2)	83.4 %
観光入込客数（実数）	万人 (H -)	4,696万人 (H28)	4,556万人 (H29)	4,603万人 (H30)	4,600万人 (R2)	100.1 %
外国人延べ宿泊者数	万人 (H -)	101万人 (H28)	98万人 (H29)	102万人 (H30)	150万人 (R2)	68.0 %

(前年度の成果)

--

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none">・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染拡大により、打撃を受けた県内観光産業は未だ回復途上にある。

(事業の評価)

・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い	
(評価) ○	新型コロナウイルス感染拡大により打撃を受けた県内観光産業の回復を支援するものであり、また、サステイナブル・ツーリズムの普及に資するものであるため必要性は高い。
・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価) —	
・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある	
(評価) ○	県観光連盟を通じ、旅行会社に対して支援を行うスキームとしており、旅行会社を通じて全国の各学校へのPRも行うことができる。

(事業の見直し検討)

--

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止 (理由)
